

No.31 岩手県盛岡市（盛岡市中心市街地デザイン戦略検討支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹 氏 (A372)
活用分野	中心市街地活性化
活用期間（頻度）	令和7年度（月4回程度）
キーワード	#中心市街地活性化 #まちづくり方針 #公民連携

【目的】 中心市街地における盛岡らしい景観の保全と都市機能確保の両立に向け、今後の公共施設の整備や民間開発を適切な方向に誘導するため、都市計画マスタープランと個別計画をつなぐ都市整備のビジョン（＝「盛岡市中心市街地デザイン戦略」）の検討を支援するもの。

【内容】

- 関係者ヒアリングの支援
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略素案に関する市民との意見交換
- まちづくりに関する専門家としての意見交換会へ出席
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略の成案化支援

【成果（見込み）】

市内中心部を細分化し、各エリアの特徴と課題、将来ビジョンを示す「盛岡市中心市街地デザイン戦略」を策定

- これまでヒアリングした関係者が一堂に集合する情報共有会を主催、内容の確認と今後の進め方について意見交換（20名が参加）
- 盛岡市中心市街地デザイン戦略素案へのパブリックコメント実施期間に合わせて、官民連携まちづくりイベントを開催したが、その企画、運営への指導・助言（約1,000名が来場）
- 官民連携まちづくりイベントの一つである「盛岡市中心市街地デザイン戦略に関する市民フォーラム」におけるパネルディスカッションにファシリテーターとして参加（126名が聴講）
- デザイン戦略に基づく民間側の実践として、民間まちづくりデザインコンペの運営を支援（全国から24者が応募）



上：これまでヒアリングした関係者を対象とした情報共有会



左：市民フォーラムにおけるパネルディスカッション

No.141 島根県隠岐の島町（まちなか再生の取り組み支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生
活用期間（頻度）	令和5年度、令和7年度、令和8年度（予定）（月1回程度）
キーワード	#まちなか再生 #商店街活性化 #官民連携 #エリアマネジメント #仕組みづくり #体制づくり

【目的】

隠岐の島町および隠岐4町村の商業・流通の拠点である西郷港周辺において、10年間でまちを再生させるプロジェクトに並走し、官民の連携によるまちづくりの推進を支援する。

具体的には、意欲あるメンバーを集めてまちづくりについて考え、実行する「アイノマ大学」におけるレクチャーを通じ、まちづくりを推進する組織の設立と同組織と町との連携によるエリアマネジメントの推進、アイノマ大学のメンバーらが主催するマルシェの定期開催などにより、ハード整備と並行したソフト事業の定着を目指す。

【内容】

- まちづくりについて学びアイノマ大学の運営支援
- エリアマネジメントを推進する組織の立ち上げ支援
- まちなか再生の取り組みに関する官民へのレクチャー
- 実行委員会によるソフト事業等の実行支援

【成果（見込み）】

- 西郷港周辺まちづくりの推進主体となっている「隠岐まちづくり研究所」が設立された。商工業者等、役員5名で構成されており、令和8年1月16日に都市再生推進法人の指定を受けた。
- まちなかで2ヶ月に1度程度、マルシェを定期開催する実行委員会の組織化に繋がった。
- 開催したマルシェは今年度延べ1,500人の来場があったほか、まちなかの遊休物件1軒において、トライアルでの出店がスタートしている。



まちづくり組織メンバーによるストリートファニチャー制作



マルシェ開催の様子

No.154 愛媛県今治市（エリアマネジメント推進支援）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（予定）（月1回程度）
キーワード	#まちなか再生 #専門家伴走 #官民対話 #現場起点 #小さな実装 #エリアマネジメント #仕組みづくり #体制づくり

【目的】

本市の中心市街地において、持続的な賑わいの創出と交流の促進を図るため、今治市及び立地企業、既存市街地の関係者等との連携により、公民連携によるエリアマネジメントの取組を推進する仕組みや手法を立案するとともに、その担い手となる組織設立の検討を支援することを目的とする。

【内容】

エリアマネジメントの導入について、外部の知見を踏まえた助言等支援を行う。

- エリア活性化に向けた方策の検討支援
- エリアマネジメント（まちなか再生）の仕組みと事業内容に関する検討支援
- 関係機関の連携・役割分担・活動統治に関する検討支援
- エリアマネジメント（まちなか再生）組織の設立と担い手に関する検討支援

【成果（見込み）】

中心市街地まちづくりにおける中間支援組織による持続可能な体制の構築
→上記のための勉強会等に官民合わせて35名が参加をし、組織化に向けたコアチームの組成に繋がった（R7成果）



（ヒアリング調査の様子）

No.173 熊本県荒尾市（まちなか再生に向けた方策検討、人材の発掘育成等）

地域力創造アドバイザー	臂 徹氏（A372）
活用分野	まちなか再生、移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月3回程度）
キーワード	#エリアマネジメント# 伴走支援# 公民連携 # エリア活性化 # 賑わい創出 # 交流促進 # まちなか再生 # 中心市街地活性化 # 移住定住 # 地域づくり人材 # 自治体経営 # シティプロモーション # 地域PR # 担い手発掘

【目的】

「あらお海陽スマートタウン」において、持続的な賑わいの創出と交流の促進を図るため、本市及び立地企業、既存市街地の関係者等との連携により、エリアマネジメントの取り組みを推進するための仕組みや手法を検討するとともに、その担い手となる組織の設立と定着を支援することを目的とする。

【内容】

- ARAOpen（後述）の開催
- まちなか再生に関する行政及び民間主体への継続的なレクチャー
- まちなか再生に携わる人材へのレクチャー、伴走支援
- 中心市街地活性化と新規エリアマネジメントの連携・仕組み化の支援



ARAOpen参加メンバー



行政・民間主体へのレクチャーの様子

【成果（見込み）】

- 荒尾のまちなか再生やエリアマネジメントに興味のある方、行政職員、まちづくり関係者など、総勢23名が参加し、まちづくりに関するアイデアを考える合宿「ARAOpen」を開催した。その参加者の中から「ARAO 5」という実践者グループが誕生し、シェアキッチンを使ったイベントなどが継続開催されている。
- まちなか再生において、中心的な役割を担う「エリアマネージャー」の選定段階において、まちなか再生の取り組みを主体的に担う上での心構えや役割などを伝えるレクチャーを行い、公募自体の支援も行った結果、14名が関心を表明し、5名の応募があり、1名の選定に至った。
- エリアマネージャーの選定後は連日ミーティングを重ねるとともに、同種の取り組みを行う別地域のまちづくり団体への研修プログラムづくりと伴走などに取り組んでいる。